

解析学 I 解答例

2014.12.22

■ 極限の定義に従って, $\lim_{n \rightarrow \infty} \left\{ 1 + \frac{(-1)^n}{2n+1} \right\} = 1$ であることを示せ.

(解) 任意に $\varepsilon > 0$ をとる. アルキメデスの原理より, ある $n_0 \in \mathbb{N}$ が取れて, $n_0 \cdot \varepsilon > 1$ が成り立つ. このとき, すべての自然数 $n \geq n_0$ に対して, $n+1 > 0$ より

$$\left| \left\{ 1 + \frac{(-1)^n}{2n+1} \right\} - 1 \right| = \frac{1}{2n+1} = \frac{1}{n+(n+1)} < \frac{1}{n} \leq \frac{1}{n_0} < \varepsilon$$

となる. 極限の定義より,

$$\lim_{n \rightarrow \infty} \left\{ 1 + \frac{(-1)^n}{2n+1} \right\} = 1$$

が成り立つ. ■